

ちょっと聞かせて♪
あちかびインタビュー

富士見高校「養蜂部」の皆さんに
日々の活動をご紹介いただきました



養蜂部の皆さん

私たちはミツバチさんとの生活を通して生理生態を学習することはもちろん、それをまとめた飼育マニュアルの作成、ミツバチが喜ぶ環境づくり、ミツバチ誘引植物「金稜辺」の培養・順化実験や蜜源・農薬散布調査など、農業高校ならではの研究も行っていきます。

また、二ホンミツバチのハチミツは、地域のいろいろな花から蜜を集めるため、多くの栄養素が含まれており、まさに地域の自然を味わえる蜜です。

そのハチミツを利用して地域を元気にしようと「信州お

やき王レシピコンテスト」などのイベントに参加したり、地産地消を実践するフランス料理店「オーベルジュ・エスポワール」の藤木シェフと共同でハチミツ料理の開発にも取り組み、その活動を県内外へ発信しています。

ミツバチさんとの生活を通して、命の大切さ、相手を思う気持ち、自然と真剣に向き合うこと、ミツバチから広がる出会いなど、私たちは様々なことを学びました。そのひとつひとつは、私たちの視野を広げ、大きな成長にもつながっています。

また、地域の方々との活動に温かさを感じ、地域の方があつてこそ私たちの充実した活動があるのだと実感しています。

ミツバチさん、そして地域の方との素敵な出会いに感謝し、今後もミツバチの魅力、故郷の素敵な地域資源に目を向け、地域の皆様と共に楽しく活動をしていきたいと思えます。

今後とも、どうぞよろしく
お願いします。

活動報告



4/18 民生児童委員協議会との懇談会

議会では、「開かれた議会」を目指し、町内の各種団体・委員会等の皆さんとの懇談会を開催しています。それぞれの立場からのご意見を伺い、今後の議会活動に生かしていきたいと思えます。



6/7 議員勉強会 「社会保障と税の一体改革」を学ぶ

今回の勉強会では、私たちの暮らしに直結した「社会保障と税の一体改革」について、中央社会保障推進協議会の湯浅事務局長に、現在、国が進めようとしている政策について解説していただきました。

編集後記

議員改選後、私を含め新人議員の多くが初めての一般質問に立った昨年の6月定例会から、一年が経過しました。

多くの町村議選で立候補者不足が顕在化し、本議会にも無投票改選への懸念を多く頂戴しましたが、逆にそれが「議会の存在意義は何かを私たちに一層強く意識させ、「開かれた議会」へ向けた原動力にもなっています。

一年を経て、一期目議員も「新人」を自称できなくなる「これから」こそ、議会改革へ向けた私たちの意志がホンモノかどうか、いよいよ議会全体の覚悟が問われることとなります。

(宮下伸悟)

〈富士見町議会へご意見をお寄せください〉

【No.122】 2012年7月15日 発行

発行:富士見町議会 / 編集:議会広報編集委員会
委員長 佐久 祐司 副委員長 平出 隼仁
委員 小池 勇 宮下 伸悟

〒399-0292

長野県諏訪郡富士見町落合10777

TEL:0266-62-9403 / FAX:0266-62-9320

E-mail:gikai@town.fujimi.lg.jp

印刷 (有)富士見印刷